レファレンスだより 2024年１月号 No.254

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

■レファレンス受付件数（2023年10月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
96	1007	202	193	206
国際	国連	こども	ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰ	合計
312	32	566	914	3528

（開館日24日　一日平均147件）

今月の特集！

東洋の龍と西洋のドラゴン

あけましておめでとうございます。
2024年が皆さまにとって良い年となりますよう、祈念いたします。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。
さて、今年の干支は「辰」。干支にちなんで、東洋の龍と西洋のドラゴンに関する本をご紹介します。

龍とドラゴンについて調べてみよう！

『図説・龍の歴史大事典』（笹間 良彦／著 遊子館 2006年）タイトルコード：1000610013419

『図説龍とドラゴンの世界』（笹間 良彦／著 瓜坊 進／編 遊子館 2008年）タイトルコード：100000031 1786

もっと知りたい！龍とドラゴン!!

『ドラゴン ： 神話の森の小さな歴史の物語』（ジョイス・ハーグリーヴス／著 斎藤 静代／訳 創元社 2009年）
タイトルコード：1000000545149

『龍と人の文化史百科』（池上 正治／著 原書房 2012年）タイトルコード：1000000989334

『龍の文明史』（安田 喜憲／編 荒川 紘／[ほか]執筆 八坂書房 2006年）タイトルコード：1000610010345

『龍 ： その多様な信仰と意匠』（福井県立歴史博物館／編集 福井県立歴史博物館 2009年）
→平成21年に福井県立歴史博物館で開催された秋の特別展図録です。

折り紙で龍を作ってみよう!!
（難易度高めに挑戦）

『幸せを呼ぶおりがみ ： 簡単おりがみ』
（小林 一夫／監修 日本ヴォーグ社 2000年）
タイトルコード：1009910062209

『英語で教える折り紙コミュニケーション ： Fun with Friends and Origami in English』
（山口 真／著 マイケル・ダイニンガー／訳 ジャパンブック 2008年）
タイトルコード：1000000347338
→折り方など英文併記。

毎年好評の

「本の福袋」

今年も１階にて展示中です！

主題別部門からはレファレンス事例の福袋を用意しております。なくなり次第終了です。「龍」に関するお題もありますよ。

質問：高松塚古墳壁画の青龍がカラーで掲載されている資料が見たい。

回答：以下のような資料があります。

①『国宝高松塚古墳壁画：保存と修理』（文化庁／編集　第一法規　1987年）2階B１０　210.2/コ
p.4「青龍」カラー図あり

②『高松塚古墳壁画』（高松塚古墳壁画総合学術調査会／編　便利堂　1974年）2階B１０　210.2/タ
図 22～27「青龍」あり、うち図 22、24 はカラー図

③『国宝高松塚古墳壁画』（文化庁／監修　中央公論美術出版　2004年）閉架書庫　210.2/コ
p. 50「青龍」カラー図あり

④『図説・龍の歴史大事典』（笹間 良彦／著　遊子館　2006年）２階D１９　388/サ
巻頭の口絵に「青龍」のカラー図の掲載あり

⑤『高松塚とキトラ』（来村 多加史／著　講談社　2008年）1階ポ６９　210.2/キ
巻頭にある口絵５に「青龍」のカラー図あり

⑥国指定文化財等データベース（https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index）
「高松塚古墳壁画」写真一覧に「青龍」カラー写真あり

⑦文化遺産オンライン（https://bunka.nii.ac.jp/）
トップページ>文化遺産データベースで検索
「高松塚古墳壁画」写真一覧に「青龍」カラー写真あり

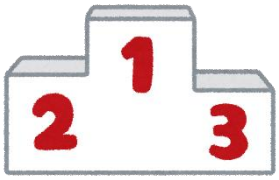
質問：国内総生産(GDP)のランキングがみたい。

回答：以下のような資料があります。

①『世界統計白書　2015-2016年版』
（木本書店・編集部／編集　木本書店　2015年）２階C１６　R350.9/セ
p.40「U各国の国内総生産（GDP）」として 70ヵ国のGDPランキングが掲載されている。

②『世界国勢図会　2023/24』
（矢野恒太記念会／編集　矢野恒太記念会　2023年）２階C１６　R350.9/セ
p.110「GDP の多い国として、アメリカを筆頭にGDPの多い国順で棒グラフがならび、結果的にGDPの高い順のランキングになっている。また、円グラフもあり。

③『世界年鑑　2023』（共同通信社／編著　共同通信社　2023年）２階C１６　R059/セ
p.568「世界の貧富」として、GDP12 位までランキングあり。また、「世界に占める割合」として円グラフもあり。



質問：髪の毛は１日に何本抜けるか。

回答：下記の資料によると、１日おおよそ50本から100本の髪の毛が抜ける。

調査に利用した図書館資料

①『髪のスペシャリストが教える髪の大事典　傷んだ髪は復元できる!』
（日本毛髪構造機構研究会／監修 徳間書店　2020年）１階ポ６０　595.4/ｶ

p.57「…毎日抜け落ちていく髪の毛は、健康な大人であれば、およそ100本ほどだとか。」とある。

p.77 図「髪の成長サイクル」の説明で「…１日平均50～100本の髪の毛が自然脱毛するといわれている。」とある。

②『皮膚科学　第10版』
（上野 賢一／原著　大塚 藤男／著　金芳堂　2016年）２階Ｅ９　494.8/ｵ

p.18 １章 皮膚の構造と機能―5 毛包脂質系―2.毛周期
「頭毛は１日に約60本脱落する」（p.18-19）

質問：「魏志倭人伝」が英語で読めるもの、また卑弥呼や邪馬台国について詳しく書いてある英文書を見たい。

回答：以下のような資料があります。

①『Japan in five ancient Chinese chronicles：Wo, the land of Yamatai and queen Himiko』（Massimo Soumaré English translation Davide Mana edited by Anthony J. Bryant edited by Mark Hall　Kurodahan Press　2009年）２階国際Ａ２０　F100ENG/210.3/SO

「魏志倭人伝」、「後漢書東夷伝倭」、「晋書四夷伝四夷伝倭国」、「南斉書東南夷伝倭国」、「宋書倭国伝」、「高句麗広開土王碑文」の日本に関する記述部分ついて、原文と英訳文、と解説を掲載している。「魏志倭人伝」については図版等と共に詳細な解説をしている（p.1-145）。

②『Treatise on the people of Wa in the chronicle of the kingdom of Wei：the world's earliest written text on Japan』（Saeki Arikiyo　translated by Joshua A. Fogel MerwinAsia, 2018年）２階国際Ａ２０　F702ENG/210.27/SA

佐伯有清／著『魏志倭人伝を読む』（吉川弘文館　2000年）の翻訳。魏志倭人伝について、詳細な解釈と解説を行っている。また邪馬台国の種々の九州説・大和説の解説、その各説による解釈の相違なども紹介している。

③『Himiko and Japan's elusive chiefdom of Yamatai：archaeology, history, and mythology』（J. Edward Kidder, Jr.　University of Hawai'i Pr, 2007年）
２階国際Ａ２０　F702ENG/210.27/KI

卑弥呼とは何者で、彼女が治めた邪馬台国はどこにあったのか？歴史、考古学、神話の３つの資料に基づき、卑弥呼と古代日本社会について考察した本。「魏志倭人伝」については、原文と英訳文を掲載している。

今月の一冊！

『方言漢字事典』
（笹原 宏之／編著 研究社 2023 年）2階BI R811.2/ｻ

「方言漢字」とは、特定の地域で使われる地域性を有する漢字のことです。その漢字が使われている地域の人にはなじみが深くても、その地域以外の人には読めない漢字があり、それは北海道から沖縄まで各地に存在しています。そして各地域の生活の中で使われてきた「方言漢字」には各地の文化、歴史などの情報が詰まっています。『方言漢字事典』はこのような「方言漢字」の字体、読み方、成り立ちや変遷、使用分布や使用状況について、解説した事典です。巻末には方言漢字地図、総画索引、音訓索引、部首別索引が掲載されています。主要参考・引用文献も掲載されているので、より詳しく調べたい時に役立ちます。

使ってみました⇒福岡県の方言漢字を調べる。

方言漢字地図の福岡県を確認すると啌（うそ）、硴（かき）、梠の三つの漢字が挙げられているので、梠について調べました。部首別索引で引くと、梠はp.54、p.55 に掲載されていることがわかります。読みはこうろ、ころ、ロ（ぎ）で福岡県、宮崎県、富山県などに見られる地域文字であることや地名や姓氏の例について書かれています。

総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	戦時下日本の娯楽政策	戸ノ下 達也／著	青弓社	762.1/ﾄ
	古典籍に描かれた江戸の酒文化	佐藤 秀樹／著	三弥井書店	913.51/ｻ
社会	賃金の日本史	高島 正憲／著	吉川弘文館	332.1/ﾀ
	同調圧力	キャス・サンスティーン／著 永井 大輔／訳	白水社	361.4/ｻ
自然	入門精神医学の歴史	ブルクハルト・ブリュックナー／著 村井 俊哉／監訳	日本評論社	493.7/ﾌﾞ
	機巧の文化史異聞	村上 和夫／著	勉誠社	502.1/ﾑ

今月の展示 ～総合図書館2階 主題別（専門書）・国際・国連 展示のご案内～

毎月 5 つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、ぜひご覧ください。

≪人文科学≫ **シルクロード**

≪社会科学≫ **人　権**

≪自然科学≫ **レンズを通して見た世界**

≪国　際≫**21世紀のノーベル文学賞**

≪IF RCI≫ **本の福袋**

≪国　連≫ **2024国際年**